

事務事業名 子育て教室開催事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1271

施 策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030210-02-268
基本事業：	03	地域における子育て支援	担当部	こども部
基本事業の 成果指標	①急用時等に子どもを預ける場所がある又は人がいる保護者の割合 ②他の親子と交流している乳幼児をもつ保護者の割合		担当課	こども政策課
			担当係	給付・支援担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成02年度	～	新規・継続	継続	会計区分		実施計画					
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）									
乳幼児と子育て中のその保護者			子育て支援センター職員が、市内の公共施設にて親子教室等を開催。 ①まなびの広場（親子教室）月齢に応じたクラスで実施（全て定員10組/回、年8回） ・ひよこ組、あひる組、うさぎ組、ぼんだ組（月齢が幼い順に表記） ◇かみーや（和室）、筑紫南コミソ、生涯学習センターにて開催 ②子育てサロン ・もこもこタイム：0歳～就学前の子どもと保護者。年に64回。 ・赤ちゃんタイム：2ヵ月～11ヵ月の子どもと保護者。年に29回。 ・ふれあいサロン：0歳～就学前の子どもと保護者。年に42回 ◇二日市東コミソ、かみーや、筑紫南コミソにて開催 ③子育て講習会 ・子育てに関する講習会を市内で開催：年9回、 【根拠法令】子ども・子育て支援法、【補助金】子ども・子育て支援交付金（地域子育て支援拠点事業費補助金）（国・県・市 各1/3）									
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）												
子どもの遊び場、保護者同士の交流の場、親子の触れ合いの場としてサロン等を開催することで親子の居場所づくりを行う。												
4. 成果（簡易評価は未記入）												
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標			
親子教室参加者数		人	589	656	656	656			800			
子育てサロン参加者数		人	3,109	5,550	5,550	5,550			5,000			
5. コスト												
事業費		計	千円	95	151	171	171					
		国	千円	31	50	57	57					
		県	千円	31	50	57	57					
		地方債	千円	0	0	0	0					
		その他	千円	0	0	0	0					
		一般	千円	33	51	57	57					
正職員人工数		人工	0.2	0.2	0.2							
正職員人件費		千円	1,546	1,563	1,605							
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,641	1,714	1,776	171						
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）												
●あがっている		<状況>親子教室の参加者数及び子育てサロン参加者数は共に増加した。 <原因>もこもこタイムとふれあいサロンの参加者数が大幅に増加したことが原因であるが、それぞれ実施回数を増やしたことや受け入れ人数枠を増やしたことによるものと考えられる。 また、令和5年度から市役所の多目的ホールで1回のみ実施したが、令和6年度は2回実施することからその状況を注視していく。										
○どちらかといえばあがっている												
○あがっていない（停滞・低下）												
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）												
対象動向	維持	類似事業	なし									
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし									
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし									
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし									
成果向上余地	中程度											
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性					●維持	○見直し	○廃止	○事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）												
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄								
少子化や核家族化の進行、地域との関わりが薄れるなど、家庭や地域における子育て機能の低下や、孤独感や不安感を抱えながら子育てをしている親が増加している。												